

目 次

巻頭言	川島 眞	1
回顧録		
若い会員にも知っておいてもらいたいこと	松本光雄	3
学会の設立と化粧品学会への衣替え	能崎章輔	7
過ぎ去った過去と将来への思いを込めて	岡本暉公彦	11
私の化粧品学会	黒岩幸雄	13
時代を創った日本化粧品学会	尾澤達也	15
原田昭太郎先生インタビュー		43
皮膚科医として歩んだ中での化粧品学会との幸運な出会い —皮膚の性状の研究と皮膚外用製剤の有効性評価の視点から—	田上八朗	47
安全性		
化粧品の安全性（総論）	佐々 齊	57
安全性を担う毒性学の変遷—化粧品の安全性を担保するために—	吉田武美	62
皮膚科医からみた化粧品の安全性	石河 晃	69
動物実験代替法の変遷と最新動向（化粧品代替法開発）	小島肇夫	72
「安全と安心」を強みにした、付加価値の高い化粧品への期待	堤 康央	76
有用性		
有用性評価総論	平尾哲二	79
サンスクリーン剤による紫外線防御の有用性	船坂陽子	86
光老化とその進行メカニズム	正木 仁	89
美白化粧品は色素沈着にどうアプローチしているか	岡野由利	95
化粧品機能評価法ガイドライン 小ジワの評価法 新効能獲得までの道のり	高橋元次	102
肌のバリア機能に役立つ化粧品への期待	須賀 康	108
皮膚透過性	徳留嘉寛	112
わが国の美容皮膚科治療	渡辺晋一	116
日本の痤瘡治療の最近の進歩	林 伸和	121
酒皰と敏感肌	山崎研志	124
男性型脱毛症	荻谷直之・伊藤雅章	128
ボディイメージとQOL—メイクアップの有用性	檜垣祐子	132
カバーメーキャップの有用性	鈴木裕美子	135

香料の有用性と化粧品への活用	土師信一郎	139
----------------	-------	-----

化粧品の未来

化粧品科学における課題と今後への期待	川島 眞	145
Evidence-Based Cosmeceuticals	宮地良樹	148
一大学教員から見た化粧品と薬用化粧品の未来	杉林堅次	152
化粧の効果と研究の将来像	知久真巳	156
化粧品の未来	藤井まき子	159
マイクロニードルが拓く化粧品の未来	中川晋作	162
幹細胞研究が拓く化粧品の未来	小出千春	166
個人の肌に対応した化粧品の現状と将来	松本克夫	170
これからの化粧品	川田裕三・丹野 修	174
研究者使命と企業活動	岡本暉公彦	179

特別寄稿

超高齢化社会における、さらなる化粧品の安全性の確保と向上に向けて	成田昌稔	181
----------------------------------	------	-----

資料

日本化粧品学会役員名簿		187
日本化粧品学会年次実績		189
日本化粧品学会教育セミナー年次実績		206
日本化粧品学会誌 総目次		215
編集後記	眞弓忠範	253